

研究機関：広島大学

研究課題名	縊頸患者におけるCTによる喉頭舌骨骨折の発生頻度についての検討
研究責任者名	医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2021年 12月 31日
対象者	2005年1月1日から2020年3月31日の間に、広島大学病院に縊頸で救急搬送された患者さんのうち、CTが撮影された患者さん。
意義・目的	縊頸患者において、喉頭舌骨骨折の存在は頸部に外的エネルギーが加わったことを表す重要な所見です。しかしながら、その発生頻度には定まった見解がありません。これを明らかにすることにより、縊頸に見せかけた犯罪の防止や不明死の解明に有用である可能性があります。
方法	本研究は、大学病院で過去に縊頸で撮影された縊頸CTの画像データを用いて、喉頭舌骨骨折の発生頻度を調べ、統計解析を行う研究です。研究に必要な調査項目は、患者さんの性別、年齢、身長、体重、縊頸の型、予後、臨床診断、CT画像です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
試料・情報の管理責任者	医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5257 広島大学病院 死因究明教育研究センター 助教 福本航